

東京オリンピック競技大会
・東京パラリンピック競技大会担当大臣
遠藤 利明 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成28年1月)

鳥 取 県

ホストタウン交流計画の登録及び 日本パラ陸上競技選手権大会への遠藤大臣の御臨席について

《提案・要望の内容》

○平成27年8月のジャマイカ陸上チームの世界陸上北京大会事前キャンプを契機に、ジャマイカ陸上競技連盟、ウエストモアランド県との交流を進めており、2020年東京オリンピックでのジャマイカ陸上チームの鳥取キャンプ実現に向けて、各種取組を確実に実施するためにも、本県のジャマイカとの交流計画について、ホストタウン事業として登録をすること。

【ホストタウン交流計画（概要）】

以下2本の柱を軸に、ジャマイカと各種分野での交流事業を実施する。

- 1 ジャマイカ陸上競技連盟との陸上交流（鳥取陸上競技協会と共同実施）
 - ・ジャマイカの陸上指導者招聘による県内巡回セミナーの開催。（平成28年度～）
 - ・鳥取県内の陸上指導者をコーチング研修のためジャマイカに短期派遣。（平成29年度～）
- 2 ウェストモアランド県との各種分野での交流
 - ・鳥取県から訪問団を派遣し、日本及び鳥取県を広くPRするほか、ウエストモアランド県からも訪問団を招聘し、両地域の文化交流を深める。（平成28年度～）
 - ・自治体職員協力交流事業でウエストモアランド県職員の受入れを実施。（平成28年度～）

○平成28年4月に開催する日本パラ陸上競技選手権大会は、大阪以外の地方では初めて鳥取県で開催されるもので、リオパラリンピック大会の選手選考会も兼ねており、障がい者スポーツの振興のためにも、遠藤利明東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣に御臨席賜りたい。

【日本パラ陸上競技選手権大会（概要）】

- ・期間 平成28年4月29日（金）～5月1日（日）
- ・会場 コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場（鳥取市布勢）
- ・参加 250人（予定）
- ・実施種目 100m、200m、400m、800m、1500m、5km、1万m、走幅跳、走高跳、三段跳、円盤投、こん棒投、砲丸投、やり投など
- ・その他 鳥取大会は、リオデジャネイロパラリンピック日本代表選手の選考会となるため、参加選手及びマスコミ等の多数の参加が見込まれる。



【本県から出場予定の野田昭和選手】

＜参考＞ 世界陸上北京大会ジャマイカ陸上チーム鳥取キャンプ2015の概要

- 1 期 間 平成27年8月8日（土）～18日（火）11日間
- 2 場 所 コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場（鳥取市布勢）
- 3 来県人数 79人（選手49人、コーチ等30人）



【選手団が鳥取県知事と鳥取市長を表敬】



【歓迎レセプションで踊る選手たち】

4 成 果

- ・期間中の公開練習に県内外から2日間で1.2万人を超える方が来場し、多くの県民に夢と感動を与え、各種メディアで大きく取り上げられる等、本県情報発信につながった。



【陸上競技場へ多くの方が練習見学に来場】



【ジャマイカ選手サイン会も大盛況】

- ・陸上教室は、中高生、指導者に大きな刺激となり、競技力向上に寄与した。



5 キャンプを契機とした交流の動き

- ・ジャマイカ陸上競技連盟から陸上交流について打診があり、今夏、陸上コーチの招聘による県内巡回セミナーの開催等、青少年を中心とした陸上交流を進める予定。
- ・ジャマイカのウエストモアランド県から姉妹都市提携が持ちかけられ、平成27年10月に本県副知事がジャマイカを訪問し、ウエストモアランド県と覚書を締結。平成28年3月中には、ウエストモアランド県と姉妹都市提携締結の調印式を実施する予定。



東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラムの推進について

《提案・要望の内容》

○2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた文化プログラムについては、日本の芸術文化の魅力を世界に発信するとともに、日本各地において多彩なプログラムが開催され、レガシーとして次世代へ継承していくなど、国を挙げて取り組むべきものであり、強力に推進すること。

①障がい者の芸術文化振興は、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するとともに、共生社会モデルの創発に繋がるものであるため、文化プログラムに位置付けて、国が主体的に取り組むこと。

②地方でタイアップする取組については、国も参画し、財政措置を行うこと。

< 地方でタイアップする取組 >

1 知事連盟概要



2 連携・協力組織

- (1)「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた障害者の芸術文化振興に関する懇談会」
 ※文化庁、厚生労働省が共同して設置（設立：平成27年6月30日）
- (2)「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の芸術文化振興議員連盟」
 ※趣旨に賛同する超党派の国会議員により設置（設立：平成26年11月5日）
 ※会長：衛藤晟一内閣総理大臣補佐官、事務局長：山本博司参議院議員
- (3)「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」
 ※全国の障がい者関係21団体による立ち上げ（設立時は20団体）（設立：平成27年7月28日）
 ※代表：全国手をつなぐ育成会連合会会長 久保厚子